JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産 大田市 Japan Heritage Oda City

令和5年度 日本遺産シンポジウム in 大田

参加無料 予約不要

令和5年 12/9(土)

PRブース 10:00~14:00

シンポジウム 13:30~16:30

会場 島根県立男女共同参画センター あすてらす

島根県大田市大田町大田イ236番地4

主催：大田市日本遺産推進協議会

石見の火山が伝える悠久の歴史

―"縄文の森""銀(しろがね)の山"と出逢える旅へ―

シンポジウム スケジュール

13:30~ ● 開 会

13:45~ ● オープニングアトラクション
- 小笠原流田植囃子（池田地区田植囃子保存会）
- 多根神楽（多根神楽団）

14:30~ ● 日本遺産を活用した地域の取り組み発表

15:00~ ● 基調講演
演 題
「日本遺産をどう活かすか」
丁野(ちょうの) 朗(あきら) 氏

15:45~ ● パネルディスカッション
テーマ
「日本遺産で大田を元気に！」

講師紹介

基調講演「日本遺産をどう活かすか」

丁野(ちょうの) 朗(あきら) 氏　公益社団法人日本観光振興協会総合研究所顧問 元東洋大学大学院国際観光学部客員教授

Profile

マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て、1989年（財）余暇開発センター入所。2002年に（財）社会経済生産性本部に移籍。「ハッピーマンデー（祝日の月曜日指定）制度」の提唱、産業観光などの地域活性化事業に携わる。2008年（社）日本観光協会（現（公社）日本観光振興協会）に移籍。常務理事、総合調査研究所長を務める。文化庁、観光庁、経済産業省などの政府各省庁の委員や、高知県、広島県呉市、京都府舞鶴市、神奈川県小田原市など、地方公共団体の観光アドバイザーなどを務める。

2020年度、永年にわたり、文化観光の分野で日本文化の継承と発展に尽力、わが国の文化遺産に貢献していることが認められ、文化庁長官表彰を受賞。

パネリスト紹介

島根県立三瓶自然館学芸員
中村 唯史 氏

脚本家
佐藤 万里 氏

ふるさとおにむらづくり実行委員会
安藤 彰浩 氏

同時開催

PRブース 10:00~14:00

- ワークショップ
- 大田市日本遺産に関わる商品販売
- 誰かに伝えたい私の大田市日本遺産フォト・リールコンテスト2023受賞作品展示

PRブースにやってくる！ 参加無料

丁銀ストラップづくり

砂絵づくり

石見銀山世界遺産センター　仁摩サンドミュージアム

日本遺産シンポジウム

日本遺産
大田市
Japan Heritage Oda City

石見の火山が伝える悠久の歴史

―“縄文の森”“銀の山”と出逢える旅へ―

Story

島根県唯一の活火山・三瓶山（さんべさん）を有する大田市（おおだし）。4000年ほどの間沈黙している山ですが、かつてこの地では複数の火山が噴火をくり返していました。最も古い火山活動は日本列島が形成された時代まで遡ります。海底火山の噴火がいくつもの鉱山を生み、この地に鉱工業をもたらしてくれました。約150万年前に起きた大江高山火山（おおえたかやまかざん）の噴火からは16世紀の世界が注目した石見銀山（いわみぎんざん）が生まれました。そして約10万年前から縄文時代にかけて爆発的な噴火をくり返した三瓶山は、豊かな土壌を育むと同時に、原始の森の姿をいまに伝えてくれています。石見（いわみ）の火山は自然の脅威とは異なる顔を見せてくれているのです。

太古から現代へ。悠久の時を経て、火山はたくさんのめぐみを私達にもたらしてくれました。島根県大田市では様々な形でその軌跡（キセキ）をたどることができます。

❶三瓶小豆原埋没林

⑰鬼村の鬼岩

㉑静之窟

⑱立神岩

❸三瓶山の牧野景観

❷三瓶山

⑲仁万の硅化木

❹三瓶そば

⑭琴ヶ浜

⑯福光石の石切場

⑬大森銀山地区

⑫石見銀山遺跡（仙ノ山の福石鉱床）

❿定めの松

オープニングアトラクション Story Introduction

豊穣を願う行事

小笠原流田植囃子（おがさわらりゅうたうえばやし）

❾小笠原流田植囃子

小笠原流田植囃子は、中国地方に伝わる民俗芸能で、その歴史は戦国時代までさかのぼります。

色鮮やかな衣装をまとって太鼓、鼓、笛などを奏でる華やかな芸能で、豊穣を祈る農耕神事でもあります。三瓶山の地域では、三瓶町池田と三瓶町小屋原に伝わり、今でも継承の取り組みが行われています。

7月に物部神社で行われる御田植祭では、小屋原の田植囃子が奉納され、水源の山である三瓶山への信仰の一端を物語ります。

大田市では、大代町の小笠原流田植囃子が市の無形民俗文化財に指定されているほか、水上町で花田植が継承されています。

山への信仰を伝える

佐比賣山神社と多根神楽（さひめやまじんじゃとねかぐら）

❽佐比賣山神社と多根神楽

三瓶山の古名「佐比賣山」の名は、古くは733年に編纂された『出雲國風土記』に記載され、国引き神話の杭に見立てられています。その古名を今に伝えるのが、大田市三瓶町多根に鎮座する佐比賣山神社です。古代には信仰の対象でもあった三瓶山の鎮守に位置づけられ、891年の創建と伝わる式内社です。

多根神楽は、明治時代に神職による神楽舞が禁止された後、佐比賣山神社の神職から多根の住民に受け継がれ、継承されてきました。

石見神楽はテンポが速い八調子が主流になっていますが、多根神楽は原型にあたる六調子の優美な舞を伝え、大田市の無形民俗文化財に指定されています。

佐比賣山神社の例大祭や、7年ごとに執り行われる農耕神事の大元祭でこの神楽が奉納されます。

■問い合わせ先

大田市日本遺産推進協議会事務局（大田市役所観光振興課内）

0854-83-8192　oodasinihonisan@wsunc.co.jp　https://www.iwami-kazan.jp/